

令和4年3月30日

中本造林徳島株式会社の「SDGs宣言」策定支援について ～ 「とくぎんSDGsサポート」 ～

トモニホールディングスグループの徳島大正銀行は、SDGsの達成に取り組んでいるお客さまをご支援するため、「とくぎんSDGsサポート」^(注)を取扱いしております。

この度、本サービスを通じて、中本造林徳島株式会社（徳島県阿波市、代表取締役：中本 雅生）がSDGs宣言を策定されましたので、下記のとおりお知らせいたします。

近年、社会的にSDGsへの取組みに対する関心は高まっており、企業イメージの向上や新たな事業機会の創出に繋がることから、多くの企業がSDGsへの取組みを推進しています。

当行では、今後も地域金融機関として、お客さまのSDGsへの取組みを支援するとともに、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

記

1. 企業概要

企業名	中本造林徳島株式会社
所在地	徳島県阿波市土成町土成字美緑43
代表者	代表取締役 中本 雅生
業種	木材・木製品製造業

※SDGs宣言の詳細については別紙をご参照ください。

(注)とくぎんSDGsサポートについて

とくぎんSDGsサポートは、チェックシートに回答いただくことで、お客さまのSDGsへの取組み状況を客観的に診断し、当行がお客さま独自の「SDGs宣言」策定をサポートする法人さま向けのサービスです。

以上

(ご参考) 当行のSDGsへの取組状況については、ホームページで公開しております。

(<https://www.tokugin.co.jp/about/region/sdgs.html>)





中本造林徳島株式会社 SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組を行ってまいります。

2022年3月30日
中本造林徳島株式会社
代表取締役 中本 雅生

SDGsの達成に向けた取組

◆ 森林経営を通じた環境保全への取組

森林の循環プランを確立し地球との共存を維持することで、「持続可能な森林経営」を目指します。

【主な取組】

- ・SGEC/PEFCの森林認証取得による自然環境に配慮した森林経営
- ・「緑の循環」をテーマに持続可能な森林経営を実践
- ・森林管理レベルの向上を図り、豊かな自然環境と持続可能な木材生産の両立
- ・クリーンウッド法が定める「登録木材関連事業者」への登録



◆ 環境に配慮した製品開発と品質管理による脱炭素への取組

原料調達・生産・流通・使用・廃棄までにかかる温室効果ガス排出量を「見える化」とすると同時に、脱炭素に向けた製品開発を行うことで「安全・安心・エコロジー」な住宅資材を供給します。

【主な取組】

- ・エコリーフ環境ラベルプログラムへの参画
- ・CFP(カーボンフットプリント)の推進による定量的環境負荷データの情報公開
- ・人に優しい自然素材を活用した製品開発により、健康的で長く住み続けられる資材を供給



◆ 働きがいと経済成長への取組

積極的な人材育成と差別のない雇用により生産性を追求し、社員と共に発展する企業を目指します。

【主な取組】

- ・働き方改革を推進し、安全・安心な職場環境を構築
- ・技術の継承のための環境づくり
- ・社員の資格取得支援の実施
- ・ハラスメントが無く、助け合いのある明るい職場づくり



◆ 地域社会とのパートナーシップ強化から地域を活性化

地域社会との連携強化を図る事で地域経済の活性化に繋がります。

【主な取組】

- ・献血活動や自然災害時の復興支援
- ・地域住民への公害に配慮した業務運営
- ・地元人材の積極採用を実施
- ・地産地消の推進
- ・「パートナーシップ構築宣言」にてサプライチェーン全体への協力推進



SDGsとは

Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略称。「誰一人取り残さない」をスローガンに、持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。(2015年9月に国連で採択)。2030年を達成年限とし、17のゴールと169のターゲットから構成されています。

